

クロベンケイガニの巣穴

■クロベンケイガニの巣穴

震災後あまり見られなくなっていたクロベンケイガニであるが、七北田川と梅田川の合流点付近（河口からおよそ2km）に多数の巣穴が確認された(Fig.1 Fig.2)。クロベンケイガニはアシハラガニ同様ヨシ原に生息するが、アシハラガニよりも淡水の影響の強いところを好む。水辺の土手に巣穴を掘って生活するが(Fig.3)、護岸工事が進みカニが巣穴を掘ることができる土手は100mも残っていない。40年以上前、護岸工事が進む前の七北田川では河川敷で「いくらでも」という表現ができるほどたくさんのカニが生息していた。数少ない生息環境を大切にしたいものである。

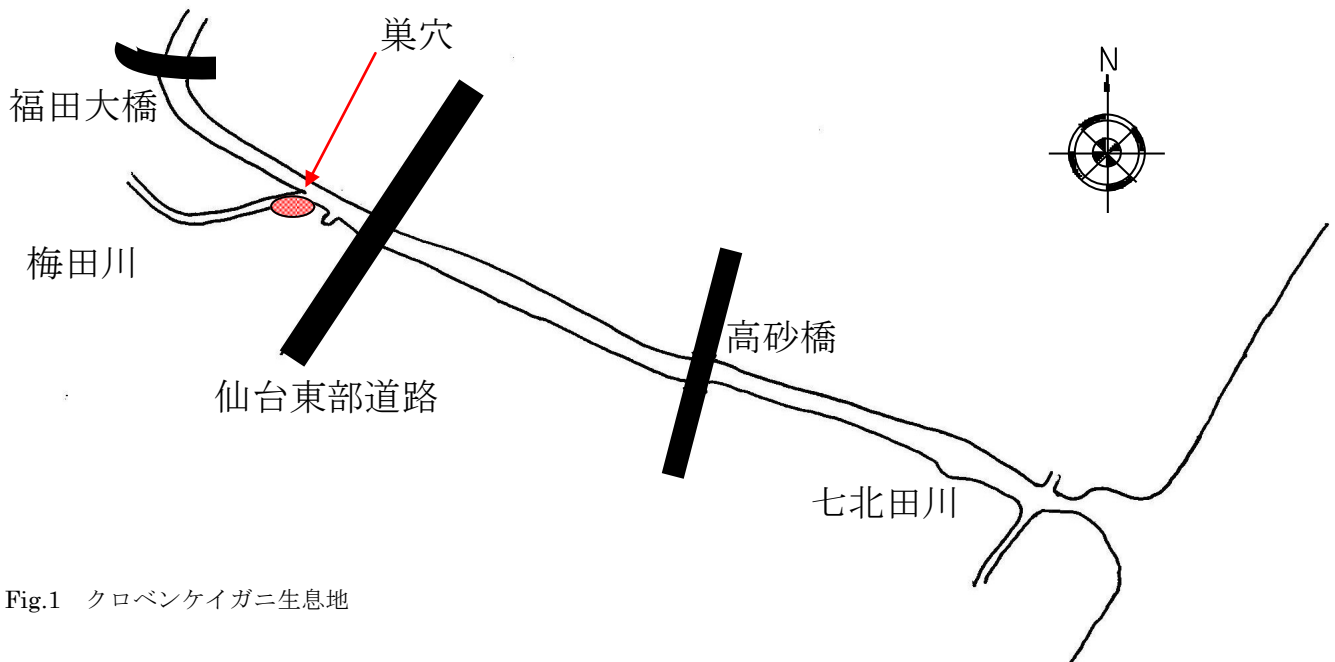


Fig.1 クロベンケイガニ生息地



Fig.2 クロベンケイガニ生息地 七北田川、梅田川合流点
 ※Fig.1の赤色部分



Fig.3 クロベンケイガニの巣穴
 (佐藤 賢治)